

議案等の紹介

今定例会に提出された議案三十五件中三十二件が可決されました(八頁の賛否一覧表を参照)以下、成立した議案の一部を紹介いたします。平成十三年度決算等については六・七頁のグラフ・表を、議員提案事例については、八頁をご覧ください。

補正予算
平成十四年度一般会計補正予算案
(仮称)男女共同参画センター整備費など計約二十二億円
平成十四年度仙台市中央卸売市場事業特別会計補正予算案
食肉市場BSE対策工事に係る整備費など約十四億円
案例など
仙台市の史跡の保存及び活用に

関する事業の推進を図るため、仙台城史跡整備基金を設置するもの
「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」の改正を考慮し、非開示とすべき個人に関する情報から独立行政法人等の役員及び職員職務の遂行に係る情報を除く等のもの
「地方税法」の改正にあわせ、連結納税の承認を受けた法人の各連結事業年度分の市民税の法人割について税率及び税額の軽減措置を講ずる等のもの
仙台市中央卸売市場内の配送センター・加工場の使用料を定めるもの
泉大沢地区計画の区域内の建築物に関する制限の内容を変更するもの
「河川法」の改正にあわせ、準用河川における竹木の流送等に

係る許可に関し必要な事項を定める等のもの
市営バスが、地下鉄以外の交通機関とも連絡運賃を設定できることとするもの
仙台北部共同溝設置工事(北根工区)の請負契約を締結するもの
市立小中学校五十六校に校内ネットワークシステムを構築するため、教育用コンピュータ等取得するもの
堤町二丁目五号線ほか十一路線を市道として認定し、今市十号線を廃止するもの
人選
仙台市教育委員会の委員の任命
仙台市人事委員会の委員の選任
神山 公夫
権藤 浩 大和田 尚子

みらい台

鈴木 勇治議員

問 国土交通省の平成十五年度予算概算要求では、東西線の採択が明示されなかった。本事業を予定どおり推進するための今後の取組と市長の決意を伺う。

答 東西線は二十一世紀の仙台の均衡ある発展を考える上で、不可欠な都市基盤であり、この事業を確実に推進することが私の使命

と考えている。
平成十六年工事着手という事業目標を達成するには、来年度予算へ盛り込まれることが必須の条件であり、今後国土交通省はもとより、財務省等に対して理解を得られるよう引き続き全力で取り組んでいきたい。

問 スポーツ施設の整備状況が心もとない中、仮に本市に対し県から宮城野原陸上競技場の移管の打診があった場合の対応を伺う。

答 スポーツが市民生活にとってますます重要性を加え、それに伴い宮城野原陸上競技場の役割と期待も今後さらに高まるものと考えられる。移管については、この施設は県の所管であり県の主体的な意



宮城野原公園総合運動場 宮城陸上競技場

向が第一に尊重されるべきである。仮に本市への移管について打診があれば、その必然性や受け入れの条件・課題等について、誠意をもって検討し適切に判断したい。
その他の主な質疑項目
介護保険料の今後の見通しとショートステイの緊急時の対応
産廃処理施設整備に積極的関与を秋保など観光地の基盤整備推進本市の緑の回廊づくりについて
狭隘な私道の雨水対策の強化

代表質疑

議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

公明党

笠原 哲議員

問 食の安全対策を万全に

答 市民が毎日口にする食品の安全性は、人間の生存に関わる極めて重要な問題ととらえており、安全安心のまちづくりの根幹をなすものと認識している。

問 地下鉄利用者に定額制採用を

答 定額運賃の採用については現在の経営状況のもとでは、すぐに導入することは難しい面がある。しかし、公共交通として最も基本とすべきは、多くのお客様に地下鉄をご利用いただくことと考えており、今後の運賃体系がいかに



朝の市営地下鉄「勾当台公園駅」

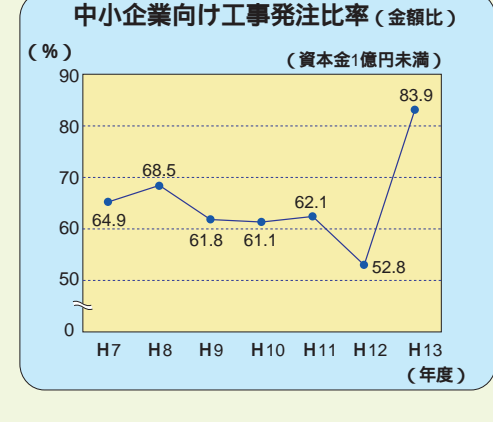
あるべきが常に模索していかねばならない。ご提案については、重要な視点のひとつとして受け止めていく。
その他の主な質疑項目
JR仙山線中江・北仙台間の高架事業の促進
せんだい保育室への支援強化
台風六号による浸水箇所対策
増加する救急搬送件数に対応する医療機関の確保策

日本共産党

正木 満之議員

問 中小企業への工事発注

答 JVへの地元企業参加や出資割合の条件化といった手法をとることにより、地元の受注割合を



問 「アエル」ビルに五年間で六十億円も貸付けを行い、今後も続けられる。「行政改革」で敬老乗車証有料化、高齢者医療費助成の廃止など市民負担を増やす中、「アエル」への税金投入をやめよ

高めていく検討をする。
「アエル」ビルに五年間で六十億円も貸付けを行い、今後も続けられる。「行政改革」で敬老乗車証有料化、高齢者医療費助成の廃止など市民負担を増やす中、「アエル」への税金投入をやめよ

グローバルネット仙台

加藤 栄一議員

問 市民健康プランについて

答 市民一人ひとりが、日々取り組めるようマンパワーの育成も

問 地球温暖化対策について

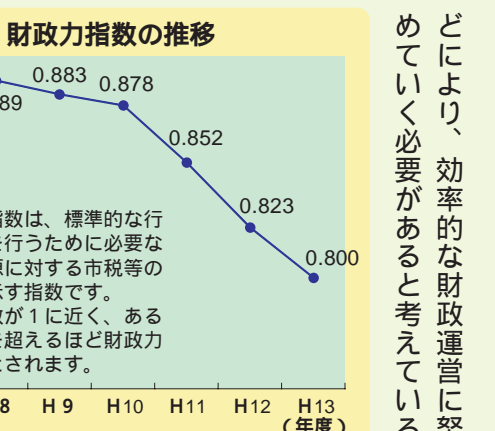
答 市民一人ひとりが、日々取り組めるようマンパワーの育成も

社民党市議団

八島 幸三議員

問 健全な財政運営を

答 市税収入が引き続き減少する一方、扶助費や公債費の増加が



問 公正な契約で雇用の安定を

答 本市では、低価格入札の場合落札を決定する前に適正な業務履行能力を調査する低入札価格調査制度を導入しているところである。今後、公営企業の契約案件を含め、落札率や業務履行の質の状況等を勘案しながら、最低制限価格制度の導入を含め、適切な措置を講じていきたい。
その他の主な質疑項目
本市の経済活動の現状認識について
健康増進センターの見直しは、「今度以上に市民の健康作り」に貢献していく、という姿勢で前向きに検討すべき
水道事業の給水目標が最近の本市の人口増を考えると過大になつていないか

自由民主党・市民会議

佐々木 両道議員

問 未就学児の医療費対策について

答 医療費助成の対象年齢は、本年十月から、外来が三歳児まで延長となり、入院については未就学児まで対象となる。さらに現物給付に改良されれば大変喜ばしい。親が若い時代は収入が、一番少ない状態にあり、医療費負担も少

問 石垣の検証について

答 一期の石垣は、慶長年間初期に藩主政宗が築城したもので、二期は、正保年間に二代目藩主忠宗が、三期は延宝年間に四代藩主綱村が修復したものとされている。しかし、一期石垣は、勾配、石の積み方、発掘物から国分氏時代の文祿の時期のものも推定され、政宗公が築城したと推定するには無理がある。科学分析など石垣を検証する気はないのか伺う。

問 石垣の構築年代については、仙台城跡石垣修復等調査検討委員会をはじめとする専門家の指導のもとに推定し、さらに文化庁の専門調査官による度重なる現地視察においても妥当と評価されていることから、改めて検証する必要はないと考えている。なお、仙台城跡については、今後も発掘、測量文献など総合的な調査も継続していくので、学術的な視点から、より一層の解明が進むと考える。

市民フォーラム

岡本 章子議員

問 せんだい保育室制度の充実を

答 八月に、認可外保育施設に関するアンケート調査を実施した。そこで出された諸課題について懇

問 国際的な産業特区をめざした経済活性化を

答 今回の研究施設の立地を契機に、知的産業の集積促進・地域産業活性化を図るとともに、生産拠点の誘致も積極的に進めていく。ベンチャー企業に対しては、現在、中小企業支援センターで行っている人材育成・販路開拓等の支



ITの起業支援の交流拠点(宮城野区)